

マネージドワークプレイス

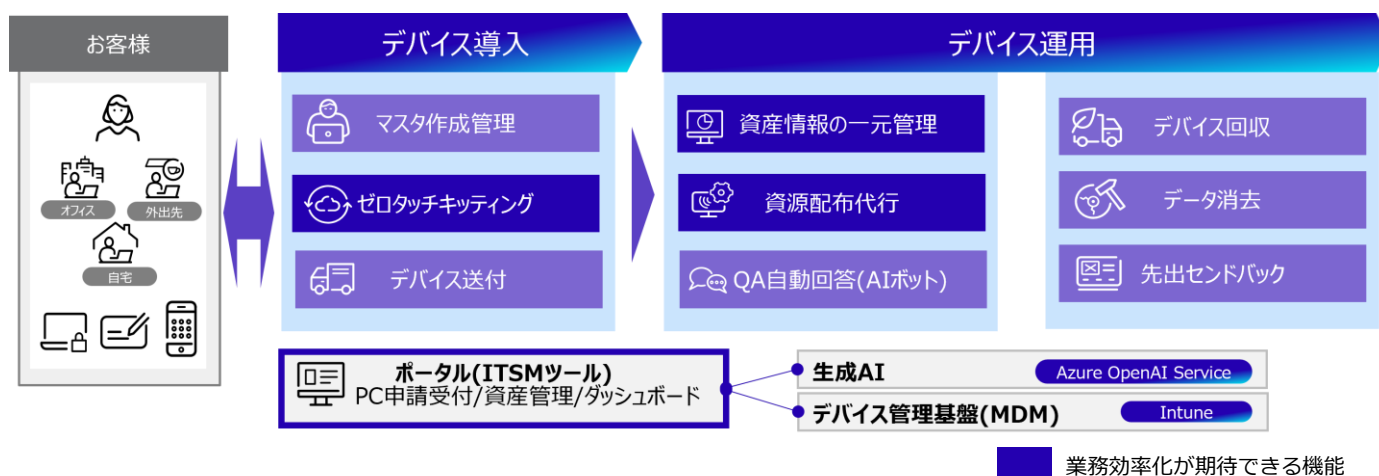
従業員満足度向上と運用業務の効率化を実現するデバイス運用サービス

マネージドワークプレイスは、従来のデバイス運用サービスに「ゼロタッチキッティング」とAIチャットによる「QA自動回答」等の機能を追加し、従業員満足度向上と運用業務の効率化を実現する新サービスです。アナログなデバイス運用を、デジタル化されたデバイス運用、さらにはグローバルや全社で統制されたデバイス運用へと導きます。

マネージドワークプレイス サービス概要

サービスポータルや申請ワークフロー、ゼロタッチキッティング等の機能により、デバイス利用者である従業員の「EX向上」「生産性向上」だけでなくIT管理者の「生産性向上」「コスト削減」も実現します。

デバイス利用者とIT管理者の双方にメリットが生まれ、組織全体の従業員満足度向上につながります。



エッジデバイス運用のよくある課題



申請後の進捗状況が わかりにくい

デバイス払い出し申請を紙媒体やメール、Excelで行っており、煩雑である。申請・承認のルートや担当者がわかりにくく、進捗状況の問い合わせが多く発生している。



デバイス資産の一元管理・ 最新化ができていない

Excelを利用したデバイス管理が中心で、ファイルの最新版管理やタイムリーな情報更新が困難になっている。アカウントとデバイスの紐づけができず、所有者不明のデバイスがある。



キッティングの 作業負荷が高い

同時に多数のデバイスを入れ替える際、従来のマスター作成やクローニングという方法では作業負荷が高く時間がかかる。IT管理者の作業負荷を減らし、デバイス利用開始までの日数を短縮したい。

マネージドワークプレイスの特長

サービスポータルで 申請状況を可視化	アカウントとデバイスの 情報を一元管理	ゼロタッチキッティングで作業 効率化
デバイス払い出し申請や問い合わせはサービスポータルのワークフローで実施。進捗状況の可視化や分析が可能となり、業務効率化や標準化にもつながります。	サービスポータルとお客様所有のIntuneを連携するため、アカウントとデバイス資産、ワークフロー申請内容の最新情報を一元管理でき、統制のとれた運用につながります。	IntuneやMDMサービスを活用したゼロタッチキッティングをご支援します。クラウド上で一括/個別設定した内容がデバイス起動時に展開され、作業負荷や時間も大幅に短縮します。

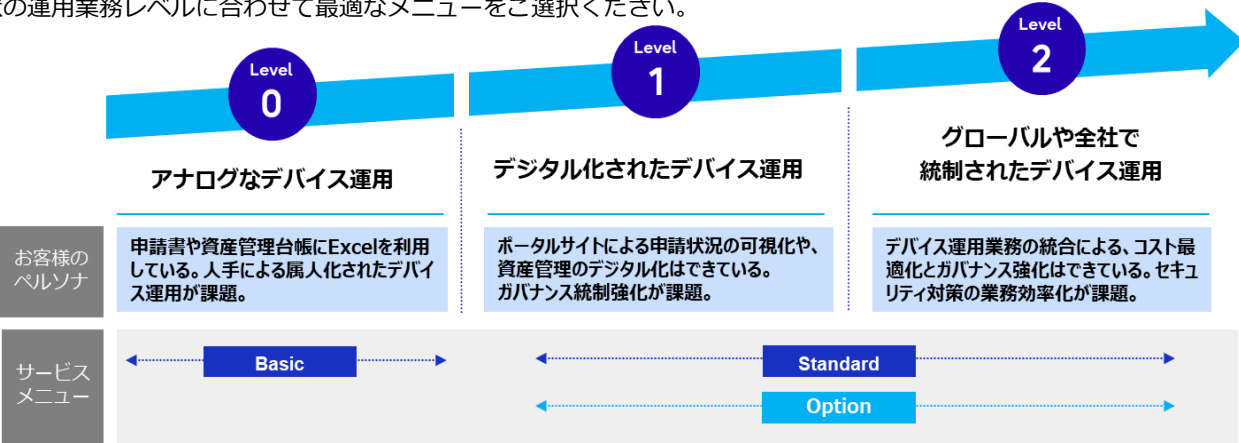
サービスメニュー

Basic※、Standardからメニューを選択いただけます。任意で追加できる導入支援サービス、オプションサービスもございます。

導入支援	導入支援サービス	現行デバイス運用のアセスメントを基に、本サービスの運用設計をご支援するオプションです。
Basic	サービスポータルでの申請/デバイス払出/配送指示等のデバイス運用業務を一元管理します。	
	初期導入サービス	当社にてサービスポータル環境を構築します。 また、代替機の保管・管理を行います。
	基本サービス	管理者向けサービスポータル提供と、申請や問い合わせへの対応、デバイスの払い出し等を実施します。
	Optionサービス	修理業者への修理依頼代行、代替デバイス払い出し、富士通が提供するMDMサービスを活用してゼロタッチキッティングの実施等もご支援が可能です。
Standard	Intuneを活用したデバイス運用業務の効率化とAIチャットによる問合せ対応の自動化を実現します。	
	初期導入サービス	Basicの内容に加えて、お客様所有IntuneやEntra IDのサービスポータル連携設定を行います。
	基本サービス	Basicの内容に加えて、Intuneを利用したデバイス紛失時リモートロック/ワイプ代行等のサービスを提供します。
	Optionサービス	Basicの内容に加えて、チャットAI回答機能や、確実な脆弱性対応を支援する機能等をご選択いただけます。

※旧「マネージドデバイスサービス デバイス一括管理」です。

現状の運用業務レベルに合わせて最適なメニューをご選択ください。



お問い合わせ先
富士通株式会社

〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1-1